

令和2年度事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報											整理番号	058			
事務事業名	道路新設改良事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	都市建設部	担当課	道路課		担当係	整備係						8	2	3	1
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市道路の構造の基準等を定める条例)								

2 事務事業の概要															
☞ 予算事業全体について記入して下さい。															
対象	狭隘の市道(生活道路)				地元から要望のあった危険性並びに必要な路線について、順次拡幅工事を実施する。										
目的	狭隘の市道を拡幅することにより、人と車両の通行がスムーズになっている。そのため、緊急車両も通行しやすくなり、地域の防災や安全に支障が出ていない状態となっている。				内容・手段										

3 事務事業の主たる成果指標															
☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。															
指標名	狭隘道路の整備率		単位	%	目標値	100	目標年次		年度	指標及び目標値設定の考え方 (または設定できない理由)					

4 事務事業の実績															
①															
平成29年度															
決算額		内訳	特定財源	208,800,000	円	2年間の主な事業内容(実績)									
300,502,787		円	一般財源	91,702,787	円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
目標に対する実績値				43.5	%	①用地測量業務 3業務 ②補償物件調査 4業務 ③用地買収 13事業 ④補償契約 15事業 ⑤測量設計業務 16業務 ⑥積算業務委託 1業務 ⑦測量調査 3業務 ⑧測量図面修正 1業務 ⑨事業負担金 2事業 ⑩道路工事発注 26事業 (※繰越事業を含む)					①用地測量業務 5業務 ②補償鑑定 1業務 ③用地買収 5事業 ④補償契約 11事業 ⑤測量設計業務 14業務 ⑥積算業務委託 1業務 ⑦設計 1業務 ⑧境界復元 2業務 ⑨事業負担金 1事業 ⑩除草業務 12業務 ⑪道路工事発注 16事業 (※繰越事業を含む)				
(住民一人あたりの行政コスト)				4,970	円										
平成30年度															
決算額		内訳	特定財源	323,900,000	円										
435,353,885		円	一般財源	111,453,885	円										
目標に対する実績値				43.7	%										
(住民一人あたりの行政コスト)				7257	円										
令和元年度															
決算額		内訳	特定財源	187,100,000	円										
279,207,951		円	一般財源	92,107,951	円										
目標に対する実績値				43.9	%										
(住民一人あたりの行政コスト)				4,687	円										

5 担当課評価		☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	目標は設定していない		
成果内容分析			
課題	・地元自治会から拡幅についての要望が多数寄せられているが予算に限りがあるため、全ての要望に答えられない。 ・現地の地形や道路線形の問題から、円満に用地取得とならない場合もある。そのため工事発注に不測の日数を要することとなり、拡幅完了が遅くなることもある。		

6 担当部長評価		☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	道路拡幅の市民からの要望が非常に多く山積している中で必要性・緊急性・地元の協力体制などを総合的に考え、地域のバランスや優先順位を考慮して計画的に進めていくため予算の拡充が必要である。		

7 実施計画																		
☞ 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度							
事業内容	4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業					4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業					4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業							
	・測量設計業務					・測量設計業務					・測量設計業務							
	・用地交渉					・用地交渉					・用地交渉							
	・工事発注					・工事発注					・工事発注							
成果指標	指標名	狭隘道路の整備率	単位	%	目標値	44.5	指標名	狭隘道路の整備率	単位	%	目標値	45	指標名	狭隘道路の整備率	単位	%	目標値	45.5
予算額	歳出	計			391,747	千円	歳出	計			265,848	千円	歳出	計			257,873	千円
		特定財源			266,400	千円		特定財源			180,700	千円		特定財源			154,700	千円
	歳入	一般財源			125,347	千円	歳入	一般財源			85,148	千円	歳入	一般財源			103,173	千円
		計			391,747	千円		計			265,848	千円		計			257,873	千円

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。 道路の拡幅は、市民からの要望が多く、地域の安心安全を守るためにも重要な事業である。厳しい財政状況の中にあっても、必要性・緊急性などから優先順位をつけ、順次整備を進めていただきたい。	

9 最終評価(行政改革推進本部)		☞	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	狭隘道路の整備は安全安心な市民生活に直結するとともに地域の防災にも欠かせないものであるため、市民の要望に最大限応えるべき。		

10 事務事業の改善点と理由		☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容			